

TA様邸・TE様邸もう少し時間が掛かりそうです。Prat 2!

いよいよ夏本番となって参りました。暑い日が続いておりますがお体大丈夫ですか？夏バテや熱中症には十分に気を付けて頂いてお体ご自愛下さいね。さて野口町に家を建てさせて頂くTA様の土地の工事ですがようやく目途がたって来ました。7月末には完成して検査を受けるとの事です。その後土地の工事完了検査済証が発行されれば、建築確認申請の手続きに入れます。家を建てさせて頂くにあたり、工事内容の方はTA様と色々一緒に考えて、ほとんど決まっておりますので、手続きに則って進めて参ります。

本当に早く建てさせて頂きたいのですがこればかりは待つしかありませんので、ウズウズしながら待っております(笑)そして、平岡町のTE様邸の状況ですが、3階建てに変更したので構造体の組み方や強度計算等でもう少し先になりそうです。どうせやるからにはしっかりと打ち合わせをして、後であの時、こうしとけば良かった・・・などと思う事の無いようにしなければなりません。通常では家は一生に一度の大きな買い物です。何度も家を建てる事が出来る人はなかなかいらっしゃいません・・・なので、急かしても焦って建てるものでもありません。納得の行かれるまでしっかりと打ち合わせをしてそれから納得の行く家を建てないと後悔する事になります。私はお客様との打ち合わせが大好きです。時に話は脱線しますが・・・(笑)当社で家を建てる場合は最低15回は打ち合わせを覚悟して下さい!(笑)それだけやっても、あっ・・・忘れてた!とか色々調べたりネットで検索しているうちに、こっちの方がいいな!とか必ず出てきます。商品も打ち合わせ期間中に新しい商品が出て来る場合もございます。

今回は建具と床材の新商品が出て来ましたので、そちらを採用させて頂く事になっております。(^_^) /

楽しみですね～♪来月はお盆休みがあるのでじっくりと・・・ですね♪



SK
加古川
通信

第90号
平成26年7月
SKグループから版
御用聞き
白矢公一

SKグループ(株)創美建築企画
本社 京都市伏見区南寝小屋町53番地
WILLHOUSE
兵庫支店加古川支社
加古川市加古川町粟津771の11

御用聞きのひとりごと・・・最近思うこと・・・

ここ数か月、お客様との打ち合わせしか仕事らしい仕事はしておりませんが、その変わりカンボジアの支援活動やこれまでの事を色々と振り返って考える時間を持つことが出来て、本当にありがたい日々を送らせて頂いております。こうしてこれまでもお仕事をさせて頂き、充実した日々を送らせて頂けるのはお客様のお蔭と本当に心から感謝しています。たくさんある住宅会社の中から当社を選んで頂ける事は本当に奇跡に近い事であり、家を建てさせて頂ける事は人としてのご縁なんだと感謝しております。現在ではインターネットの普及により、様々な住宅建築用途があり、その中から選べる自由度も、お客様が調べやすくなり、住宅の知識も得る事も検索一つで出来るようになりました。また、選択肢が増える事で迷われる方もいる事でしょうが、迷われながらも当社を知って興味を持って頂けて、大切な夢のマイホームをお任せ頂けるなんて本当にありがたい事です。信用して頂くにはお客様に対して結果を出さなければなりませんし家は出来て当たり前です。当たり前前の事で普通ですので、それ以上にお客様との信頼関係を大切にしていきたい。家を建てさせて頂いてから、その先10年後も20年後も、やっぱりあそこの会社に頼んでよかったな〜と思って頂きたいのです。そう思うと頂ける家づくりをするのが私の使命であり、志事だと思っています。そしてプライベートでは本社の大西会長が私を自由に支援活動やその他の活動に参加させて頂き、本当にありがたく感謝しています。私は大西会長に出会って人生が変わりました。14年前にこの人に出会ってなければ間違いなく今の自分は無いでしょう、そして15年目になりますが、リーダーシップトレーニング(通称LT)と言う研修で出会いました。その時私は30歳、まだまだこれからと言う時で、色んな意味で波乱万丈な時期でしたが、それも人生勉強において必要な出来事であり、私に必要な試練だったのだと今では思えます。そんな私を見守ってくれていたのが大西会長です。WILLHOUSEと言う商品も大西会長なくては存在していません。平成17年に第1棟目を建てさせてくれたのも大西会長でした。その第1棟目の住宅で見学会をさせて頂いてその後色々となりましたが現在に至ります。大西会長に心より感謝していますし、偉大な師匠であり親分であり、かけがいのない兄です。そんな大西会長に誘われて2005年に行ったのがカンボジアと言う国、初めて行った時に衝撃を受けました・・・文化の違いとはいえ、ここまで貧しいのか、カンボジアの方々には申し訳ないが、なんて自分は恵まれた環境にいるんだと改めて気付かされたのです。それまでは仕事の不安や将来の不安で悩む事も多々ありました。現在でも無い訳ではないですが、生きている事に感謝、働ける事に感謝、仕事がある事に感謝、ご飯が食べられる事に感謝、現在の日本の国に産んでくれた親に感謝、素直にそう思えるようになりました。ご恩返しだなんてそんなだいそれた事ではないですが、原点に戻ったような気持ちにさせて頂いた事に対して、自分が何が出来るのか・・・と言う事で大西会長と共にカンボジアの支援活動に参加させて頂いております。今年は4月に心優しい皆様からたくさんの衣類を頂きコンテナの船便でカンボジアに送らせて頂き、カンボジアの地でショップをオープンして服を売り、SKO孤児院の運営費に使うと言うプロジェクトが立ち上がりました。現在はFBなどで報告があり、売れ行きはもうひとつのようですが、始まったばかりなので今後の対策を練って行きます。又、同じくして豚小屋を子供達と一緒に建設し、子豚を買って飼育して出荷するプロジェクトですが、写真の通り豚はすくすくと大きくなって育てて現在一匹55キロ、子供達も交代でしっかりと豚の世話をしています。初めは一番下の写真の通り、とても小さく誰も豚を育てた経験も無く、本当に育てる事が出来るのかと不安もありましたが、SKOの子供達はしっかりと世話をしてくれてお蔭で健康に育っているようです。本当に世の中は便利になりました。スマホで写真を撮って送れば言葉が通じなくても見れば一目瞭然です。数年前までこんな事が出来るようになるとは夢にも思っておりませんでした。子供達も学校へ行って勉強しているので多少の英語が通じます。私より賢いかも?(笑)カンボジアでもスマホや携帯電話やパソコンが普及しています。自分でアルバイトして買っている子もいます。そこだけ見れば、なんだ、そんな事が出来るようになってくるのならもう支援はしなくても大丈夫では?と言う声も聞こえて来ますが、全体を見ていない人の意見として聞いています。物があるから裕福とは限りません、普段の生活を見ればとても貧しいのです。新しい文化が入って来ているだけなのです。いまだカンボジアの国民の平均月収は80ドル前後、目まぐるしく高騰してゆく物価に対応出来ず、とても生活がまともに出来る状況ではありません。私が日本で生活している時と同じ状況で現地の食事を摂ったとしてカンボジアでお金を使うと一ヶ月に300ドルは確実に必要でしょう、80ドルでは到底まともに生活出来ないのです。文化の違い、国の違いといえど何を基準に裕福であるのか、そして貧しいのか・・・日本を基準にすればとても貧しくカンボジアの一般国民は貧しいのです。発展途上国にはそんな国が沢山あり、戦争をいまだに行っている国もありますね、日々ニュースや新聞で取り上げられています。私は私の出来る事をする・・・出来る事は限られておりますが、少しでも何かのお役に立てる人生でありたいと思います。又、8月28日より1週間ほどカンボジアに行ってくるのですが、今回は大きく育てた豚の出荷と今後のSKOの有り方について大西会長と共に話し合ってくる。当然、お仕事には影響の無いように万全の態勢を整えてから行きますのでどうかご安心を!お客様や皆様とのご縁があり、共に学び成長させて頂き、お仕事や支援活動を通じて人様に必要として頂ける事に感謝して・・・

